

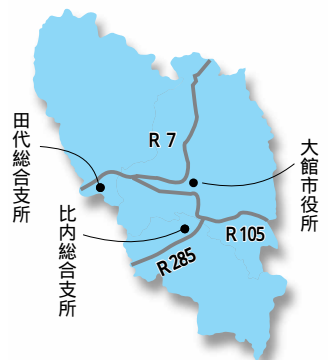


歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド

市民の皆さんが
たくさん登場

今回訪ねたのは
「石田ローズガーデン」
H20.6.15取材



紫のバラ

バラまつりの会場「石田ローズガーデン」は、大館市初の名誉市民 故石田博英氏(元労働大臣)の私邸の庭でしたが、ご遺族から市へバラが寄贈され、平成7年7月1日から市で管理することになりました。面積は2343mと比較的小規模ですが、1種1本を基本としたサンプルガーデンになってますからバラの歴史を短時間で学べて楽しめるのが、この石田ローズガーデンの特色です。園内には、原種や亜原種、オールドローズから近代バラ、イングリッシュ・ローズなど600種700本のバラが植栽されていて、このバラ園ならではの珍しい品種もたくさんあります。期間中は、バラの苗木の販売やバラのコンテストも行われ、全国からバラファンが訪れます。



バラ一筋の健治さん。

「バラを育てて60年を超えます。縁あって、日本バラ学界にも設立当初から入会しています。バラは花の女王とも呼ばれ、その美

バラまつりと言えば、ご自分でバラを栽培しながら、長年、ガーデンの手入れをしていただいた小倉健治さん(比内丁)を忘れてはいけません。

しさに魅せられたんでしょうねえ。全国に愛好者がいるので、バラを通して大館の活性化につながればと思ってやってきました。バラは種類がとても多く、1本ごとに個性があります。人間と一緒に、一本一本に手を掛けて育てないと病気や虫にやられてしまうんです。言わば、子育てと一緒にですね。」

と、そこへ

お子様連れの齋藤光子さん(赤館)、肇子さん、香子さん、光くん、春音くんのご家族が、「バラ園へは、毎年来てるんですよ。花が好きなんです」と肇子さん。「紫のバラが好き」なのは光くん。春音くんは、バラよりスナック菓子。今日は、両陛下のお見送りをしようかと思ってきたんだけど、間に合わなかったと光子さん。満開のバラを楽しんでいってくださいね。



左から、香子さん、光くん、光子さん、春音くん、肇子さん。